

大学コンソーシアム富山 令和4年度地域課題解決事業申請書

(新規・継続)

自治体等名	朝日町	担当者	所属 教育委員会事務局 氏名 八巻 未来 TEL 0765-83-1100 (内 324) E-mail chioko09@int.town.asahi.toyama.jp
地域課題名	地域における「朝日まちなか体育館」の在り方	事業費	200千円
地域課題の背景	<p>朝日まちなか体育館（以降、「当体育館」）は平成30年に完成した施設で、泊駅から徒歩約7分の場所に位置している。18m×24m（バドミントンコート2面程度）の体育館を有し、バリアフリーにも対応している。管理運営は教育委員会事務局で行っているが、常駐の管理人はおらず、鍵の貸し借り等は当体育館近くの複合施設「五叉路クロスファイブ」の管理人に依頼している。</p> <p>過去3年の年間利用人数は、平成30年度が3,026人、令和元年度が5,311人、令和2年度が3,454人となっている。施設稼働率は、平成30年度が67%、令和元年度が82%、令和2年度が74%となっている。令和元年度は、利用回数券の浸透や新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休校、美術作品の展示会場としての利用等により前年度から利用者が大きく増加した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による当体育館の一時休館等により前年度に比べ利用者が減少したが、家族での利用者が増加した。</p>		
課題の概要	<p>(1)課題＝解決したい問題の説明、(2)その課題解決において自治体が行うこと、(3)高等教育機関に求めたいこと、<u>についてできるだけ具体的に記入願います</u></p> <p>(1)①利用者を増やし、施設稼働率を高めたい。少しずつ当体育館の存在が地域に浸透し、利用が徐々に増えてきていると感じるが、利用者は同一の団体や個人がほとんどである。また、特に土曜日・日曜日の利用が少なく、その活用方法についてスポーツに限らずに検討する必要があると考える。②利用者に、自ら施設管理に携わる意識を持たせたい。当体育館は管理人が常駐していないため、利用者自らが清掃や用器具の整理整頓をすることで、快適な施設空間を保つことができると考える。また、そのような行動や意識を持たせることで、当体育館がより地域に根ざした、愛される公共施設になると考える。③当体育館に備えている用器具をもっと利用してもらいたい。ビーチボールやバドミントンの道具など頻繁に利用されているものもあるが、例えば、短なわとびはほとんど利用されていない。あまり使われていない器具を用いた運動やスポーツの利用を促進することができれば、新たな利用者の増加等にもつながるのではないだろうか。</p> <p>(2)町はこれまで、小中学生の夏休み・冬休みに合わせて当体育館を無料開放したり、ビーチボール教室や氷見市のハンギョボール体験会を開催したりしてきた。令和3年度は、地域おこし協力隊（スポーツ分野）主催でニュースポーツとアダプテッドスポーツの体験会を開催する予定である。これらのイベントで招いた講師等に対し、謝礼をお渡ししており、今後</p>		

	<p>も同様のことが可能である。また、当体育館の利用の仕方や備品については、施設内に掲示を行ったり、チラシを作成・配布（公開）したりしてお知らせしている。</p> <p>(3) 上記の課題①～③をもとに、地域における「朝日まちなか体育館」の在り方について、学術的な見地からご意見・ご提案をいただきたい。①～③（のいずれか）の課題を解決するための各種調査やその結果から、当体育館が地域にとってどのような存在であることが望まれるか、またそのためにはどのようなことが必要になるか、示していただきたい。</p>
事業実施に当たっての協働体制	<p>【自治体等の役割】 相談、情報提供、各種調整など</p> <p>【高等教育機関の役割】 課題の現状把握など各種調査、課題の解決策や地域における当体育館の在り方についての提案・提言</p>
成果の活用方法	<p>いただいた提案やご意見をもとに、企画・実行に移したい。また、成果を町HPや広報等を用いて積極的に発信し、PRにつなげたい。</p>

【作成上の注意】

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。
（自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。）
- 2 課題に関する詳細資料（秘密事項は除く）がある場合は、添付願います。
- 3 課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 4 申請書は1ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。